



新時代も、あなたと。
～「ありがとう」こうぎん90周年～

会社説明会資料

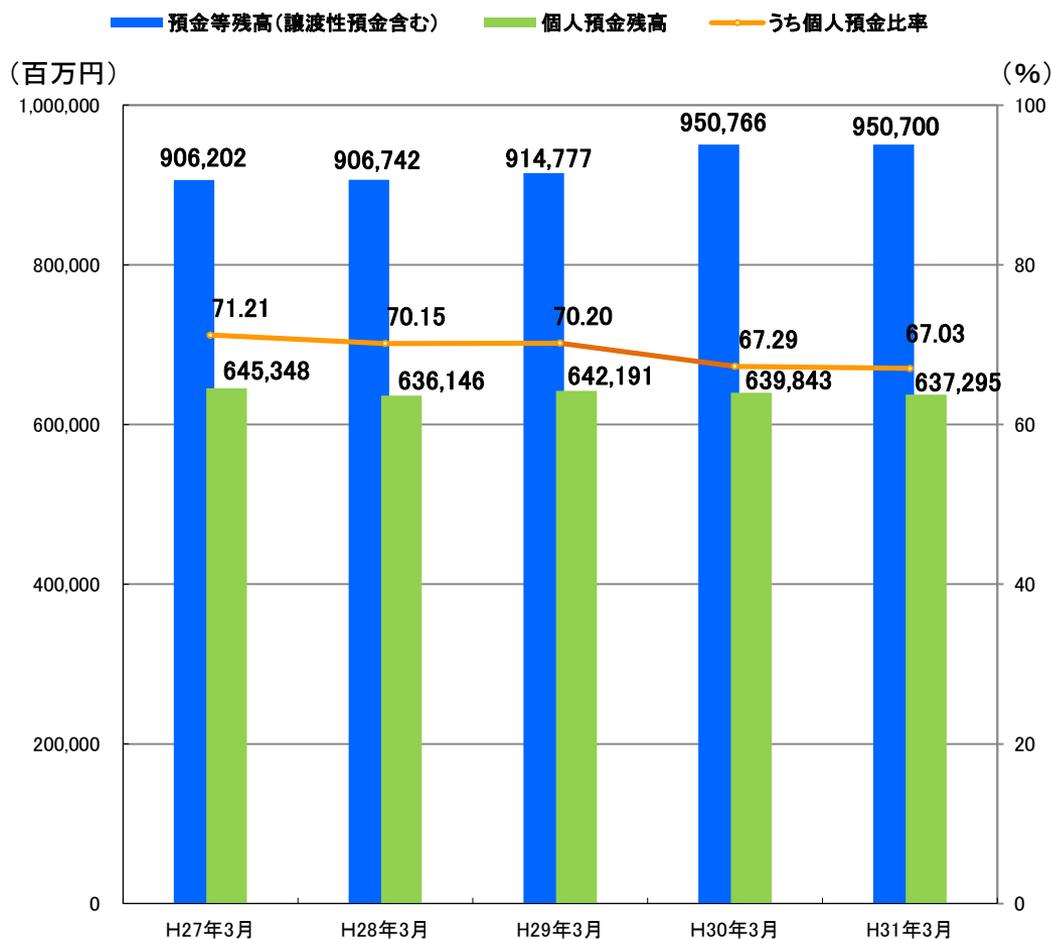
- ◆ 平成31年3月期決算の概要
- ◆ 中期経営計画 『こうぎん新創造 第I期:変革』
- ◆ CSR活動・ESGへの取り組み

平成31年3月期決算の概要

1.預金等

預金等残高の推移

地域に密着した営業活動を展開した結果、預金等の残高は前期末と同水準の9,507億円となりました。

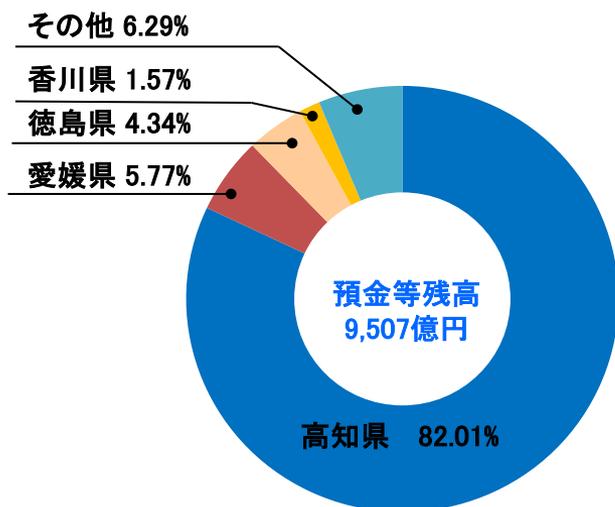


	(百万円)	
	預金等残高	うち個人預金残高
平成31年3月期	950,700	637,295
平成30年3月期	950,766	639,843
平成29年3月期	914,777	642,191
平成28年3月期	906,742	636,146
平成27年3月期	906,202	645,348

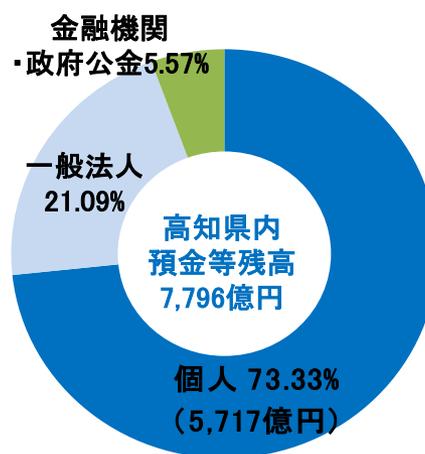
預金等残高に占める地元預金

預金等残高9,507億円のうち高知県内の預金等残高は7,796億円で、預金全体の82.01%を占め、また、高知県内の預金等残高のうち73.33%は個人のお客さまの預金となっております。

地域別預金等残高



うち高知県内預金等残高



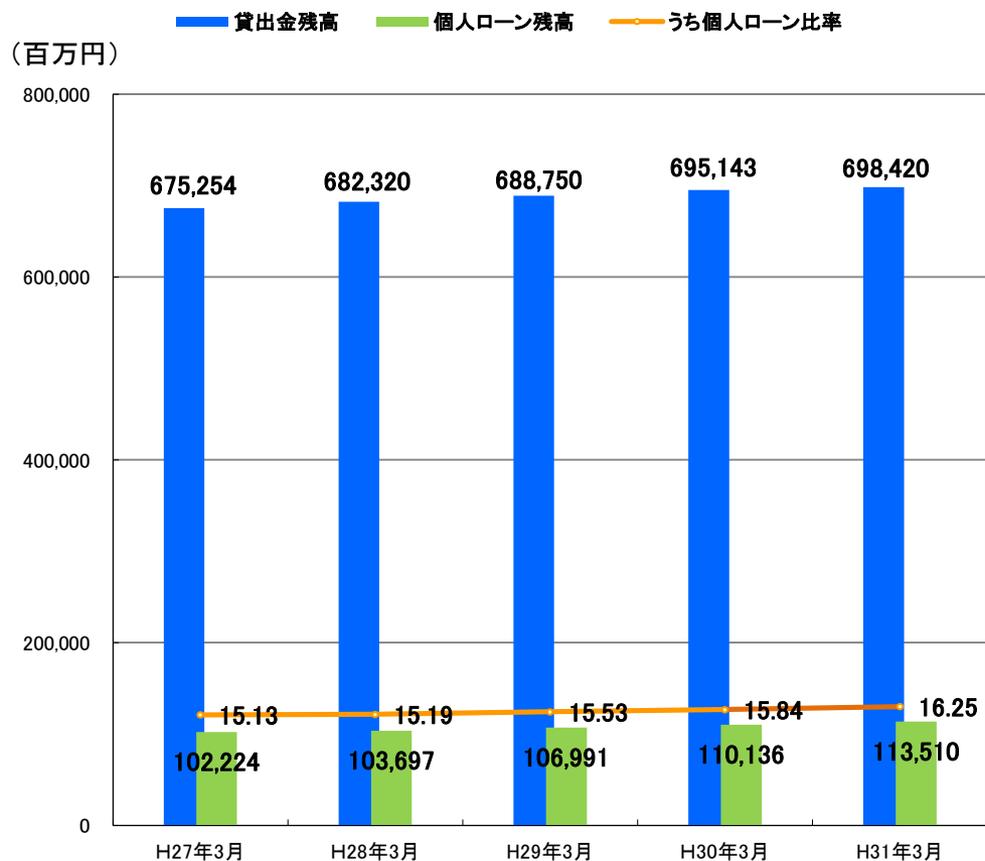
(百万円)

	預金等残高	うち高知県内預金等残高
平成31年3月期	950,700	779,692
平成30年3月期	950,766	768,538
平成29年3月期	914,777	761,854
平成28年3月期	906,742	757,594
平成27年3月期	906,202	759,419

2.貸出金

貸出金残高の推移

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的に対応するなど、貸出金の増強に努めた結果、貸出金残高は前期末比32億円増加して6,984億円となりました。



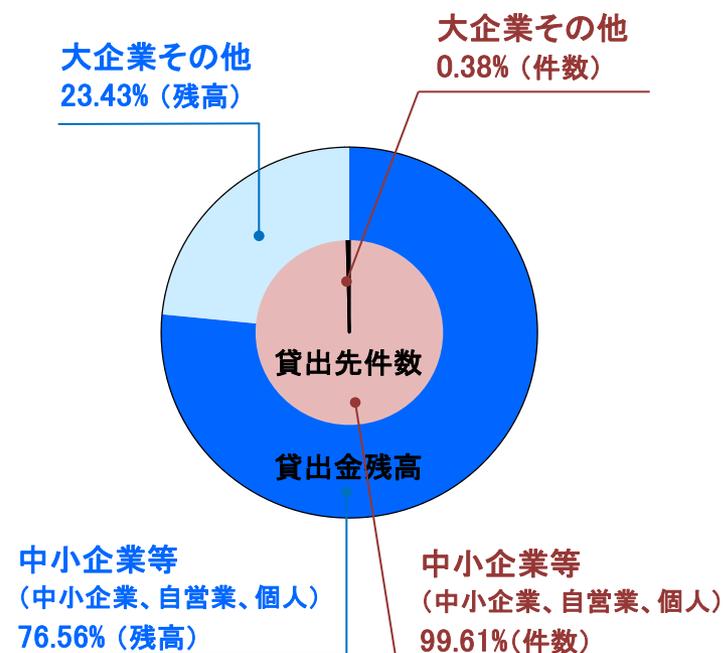
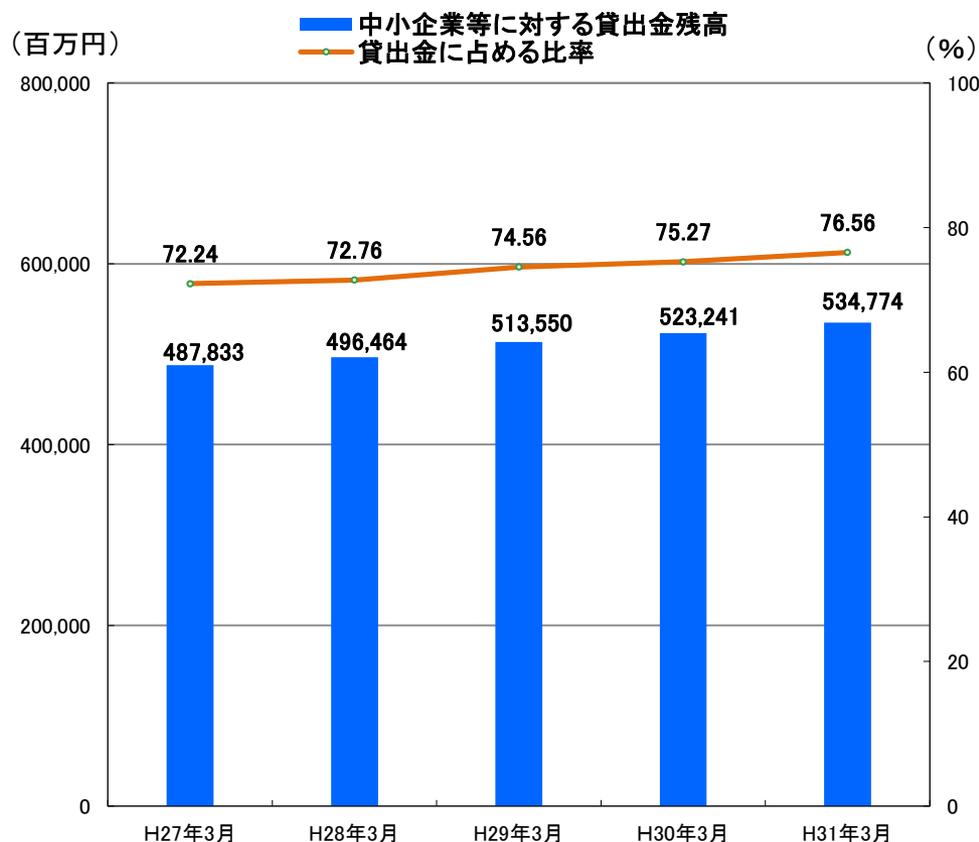
	貸出金残高 (百万円)	うち個人ローン残高 (百万円)
平成31年3月期	698,420	113,510
平成30年3月期	695,143	110,136
平成29年3月期	688,750	106,991
平成28年3月期	682,320	103,697
平成27年3月期	675,254	102,224

貸出金残高は8年連続して増加

中小企業等に対する貸出金

中小企業の皆さまに対する貸出金残高は、前期末比115億円増加して5,347億円となりました。

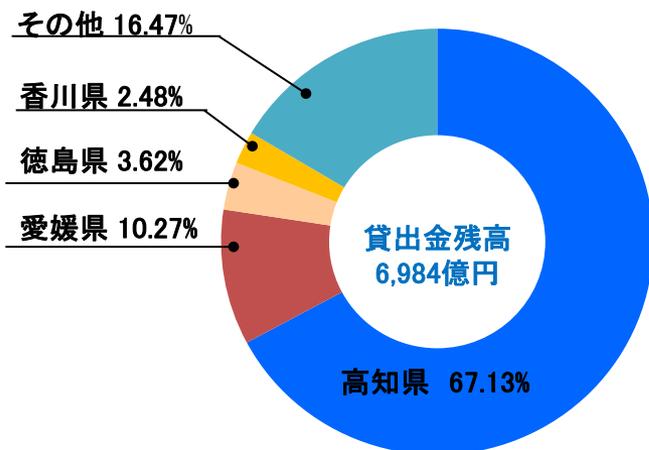
なお、中小企業や個人のお客さま向けの貸出金残高は、貸出金の76.56%を占めております。



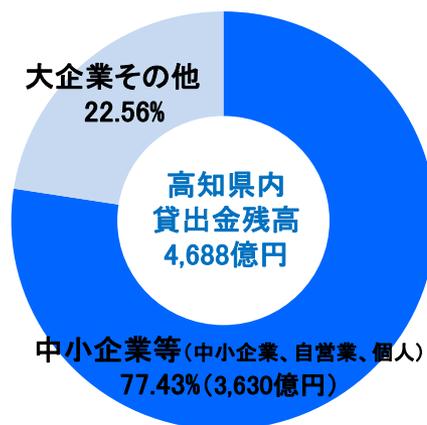
貸出金残高に占める地元貸出金

貸出金残高6,984億円のうち高知県内向け貸出金は4,688億円で、当行の貸出金全体の67.13%を占め、また、高知県内向け貸出金のうち77.43%は中小企業や個人のお客さま向けのご融資となっております。

地域別貸出金残高



うち高知県内貸出金残高



(百万円)

	貸出金残高	うち高知県内 貸出金残高
平成31年3月期	698,420	468,879
平成30年3月期	695,143	462,673
平成29年3月期	688,750	457,739
平成28年3月期	682,320	460,733
平成27年3月期	675,254	462,238

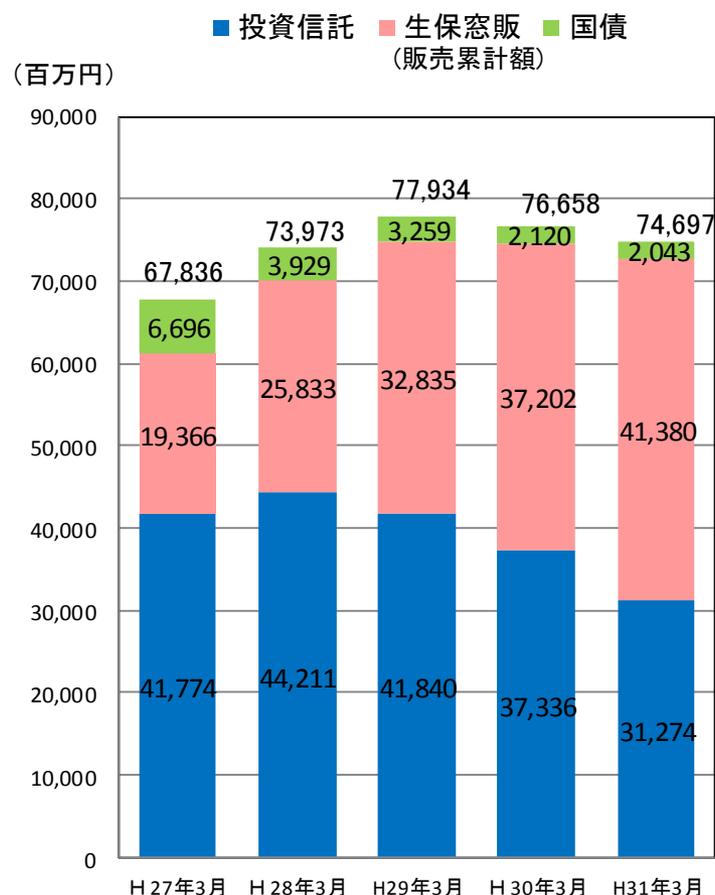
3. 預り資産

平成31年3月期決算の概要

預り資産の推移

預り資産の残高は前期末比 19億円減少して746億円となりました。

また、預金・預り資産の合計は1兆253億円となり、2年連続して1兆円を超過いたしました。



	投資信託	生保窓販 (販売累計額)	国債	合計
平成31年3月期	31,274	41,380	2,043	74,697
平成30年3月期	37,336	37,202	2,120	76,658
平成29年3月期	41,840	32,835	3,259	77,934
平成28年3月期	44,211	25,833	3,929	73,973
平成27年3月期	41,774	19,366	6,696	67,836

預金・預り資産の合計

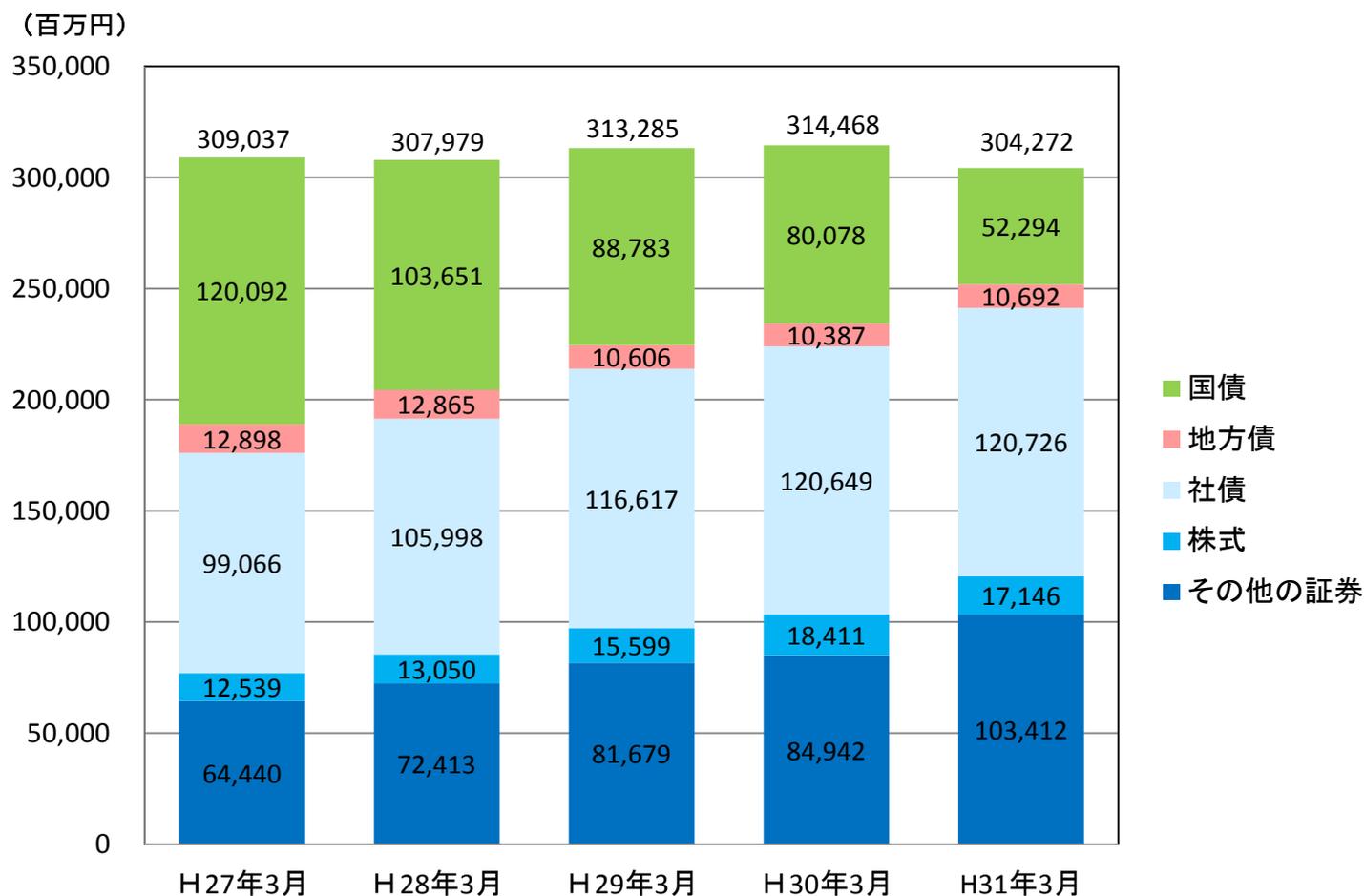
	預金等残高	預り資産残高	合計
平成31年3月期	950,700	74,697	1,025,397
平成30年3月期	950,766	76,658	1,027,424
平成29年3月期	914,777	77,934	992,711
平成28年3月期	906,742	73,973	980,715
平成27年3月期	906,202	67,836	974,038

4. 有価証券

有価証券残高の推移

有価証券残高は、前期末比101億円減少して3,042億円となりました。

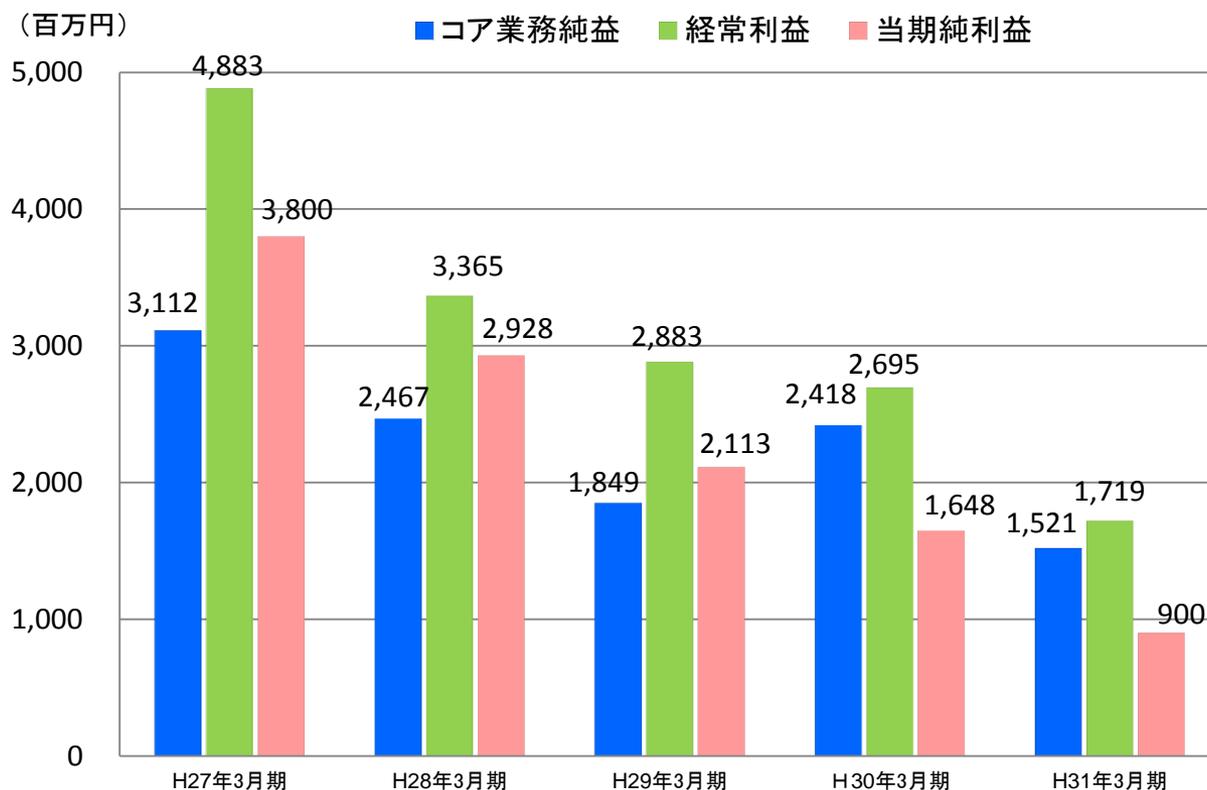
また、有価証券の評価損益は、前期末より11億40百万円減少して83億77百万円の評価益となりました。



5.損益状況

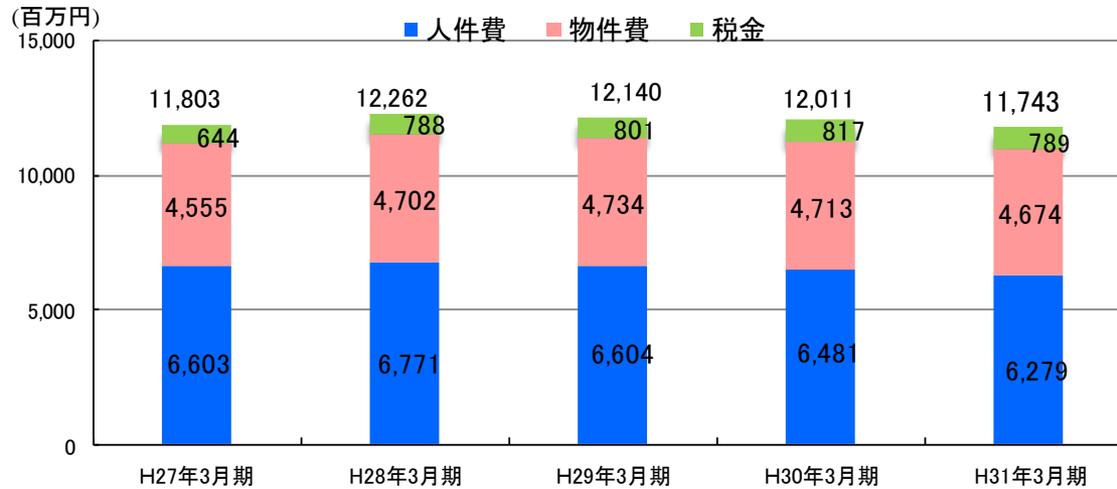
コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質の改善強化に努めた結果、コア業務純益は15億21百万円、経常利益は17億19百万円、当期純利益は9億円となりました。

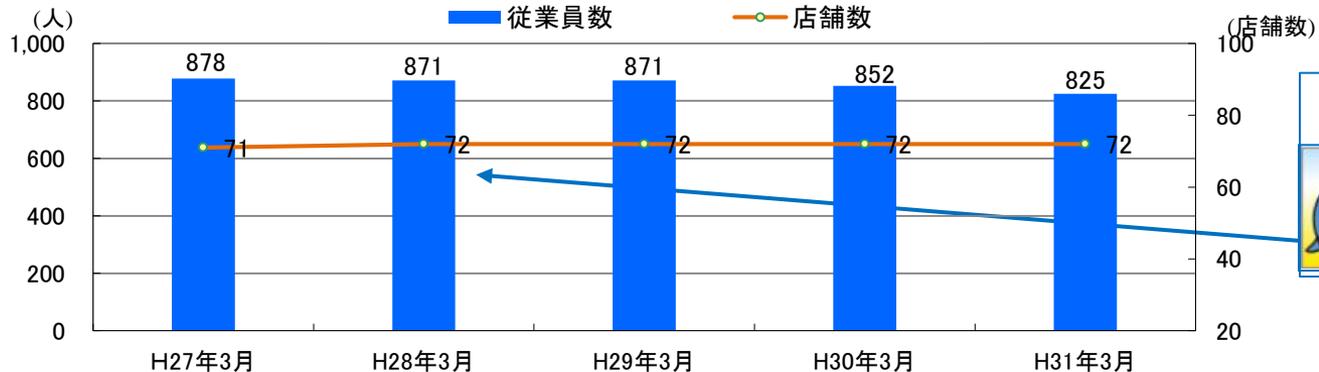


経費

平成31年3月期の経費合計は、前期より2億68百万円減少して117億43百万円となりました。



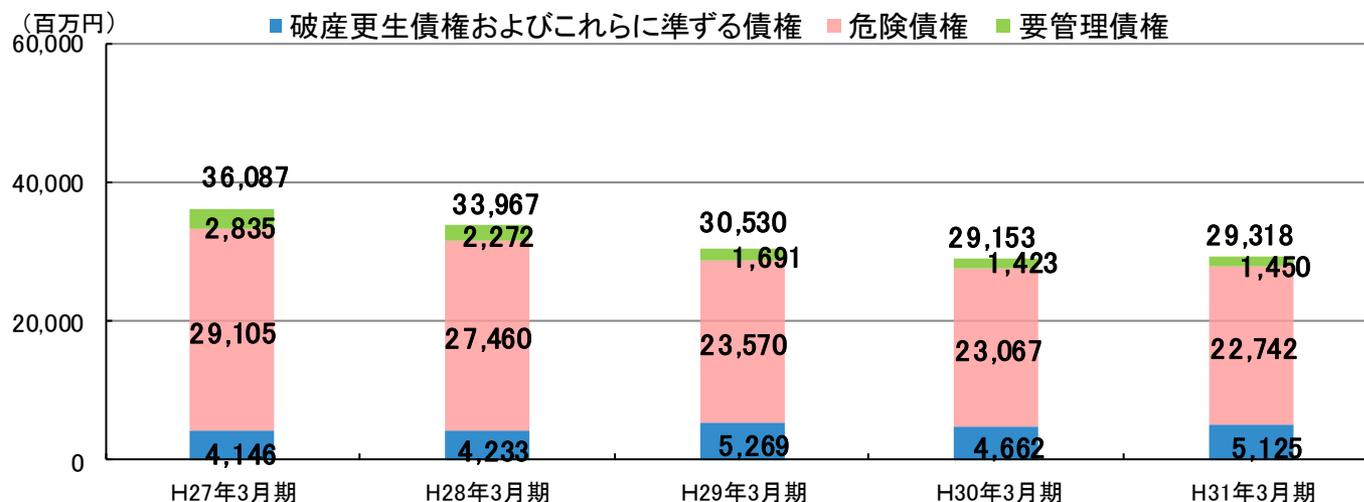
従業員数・店舗数



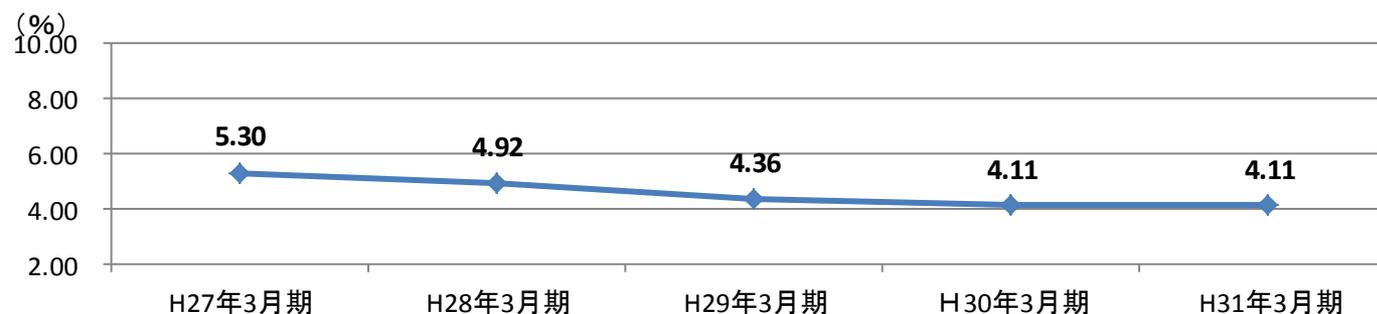
※ 従業員数は就業人員数であり、嘱託および臨時従業員を含んでおりません。
 ※ 店舗数72店舗のうち、「県庁支店」「須崎支店」はランチ・イン・ランチ方式で営業しております(令和元年9月現在)。

6.金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示基準に基づく不良債権の合計は、前期より1億65百万円増加して293億18百万円となり、不良債権比率は前期と同水準の4.11%となりました。

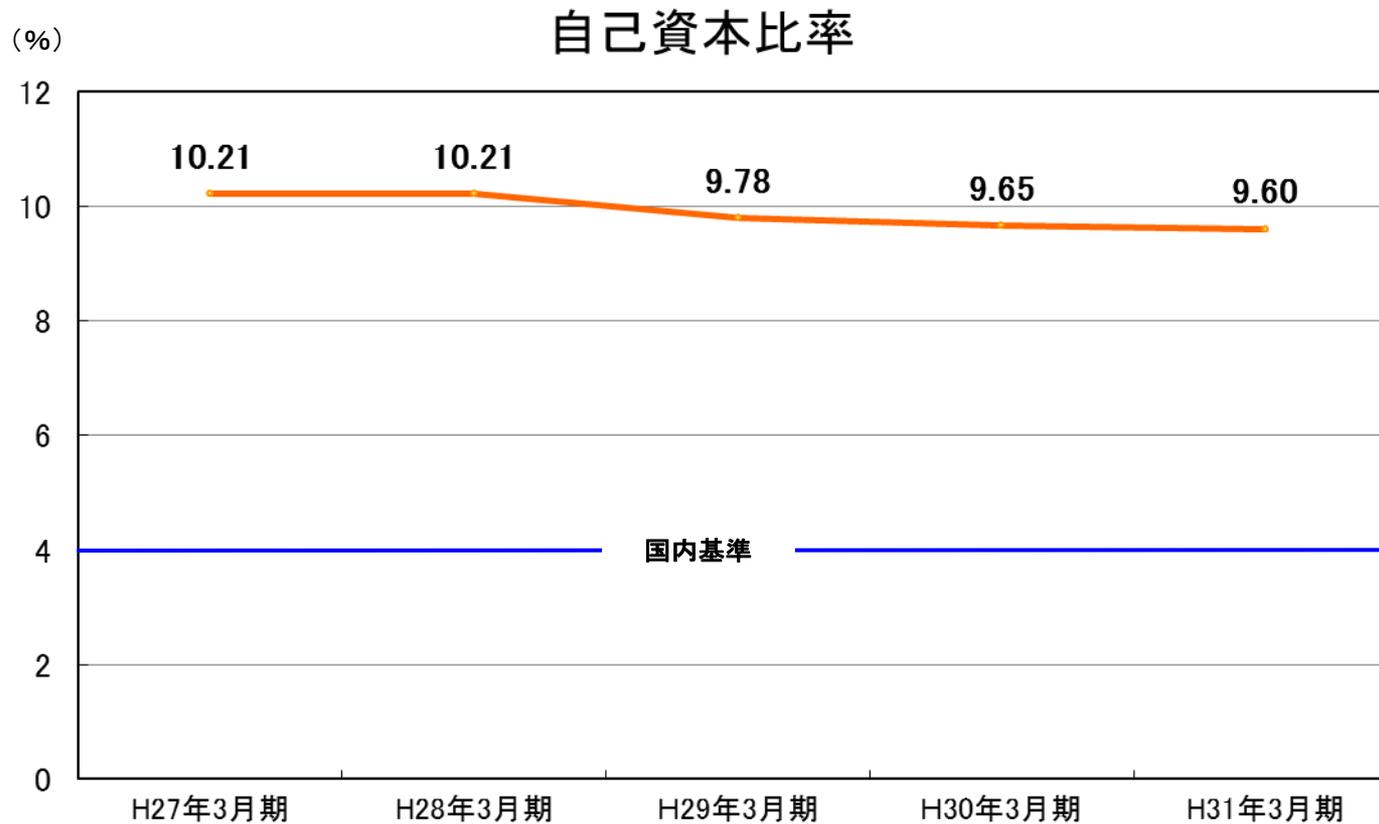


◆ 金融再生法開示基準に基づく不良債権の総与信額に占める割合



7.自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期より0.05ポイント低下して9.60%となりました。



中期経営計画

「こうぎん新創造 第Ⅰ期：変革」

中期経営計画「こうぎん新創造 第Ⅰ期:変革」

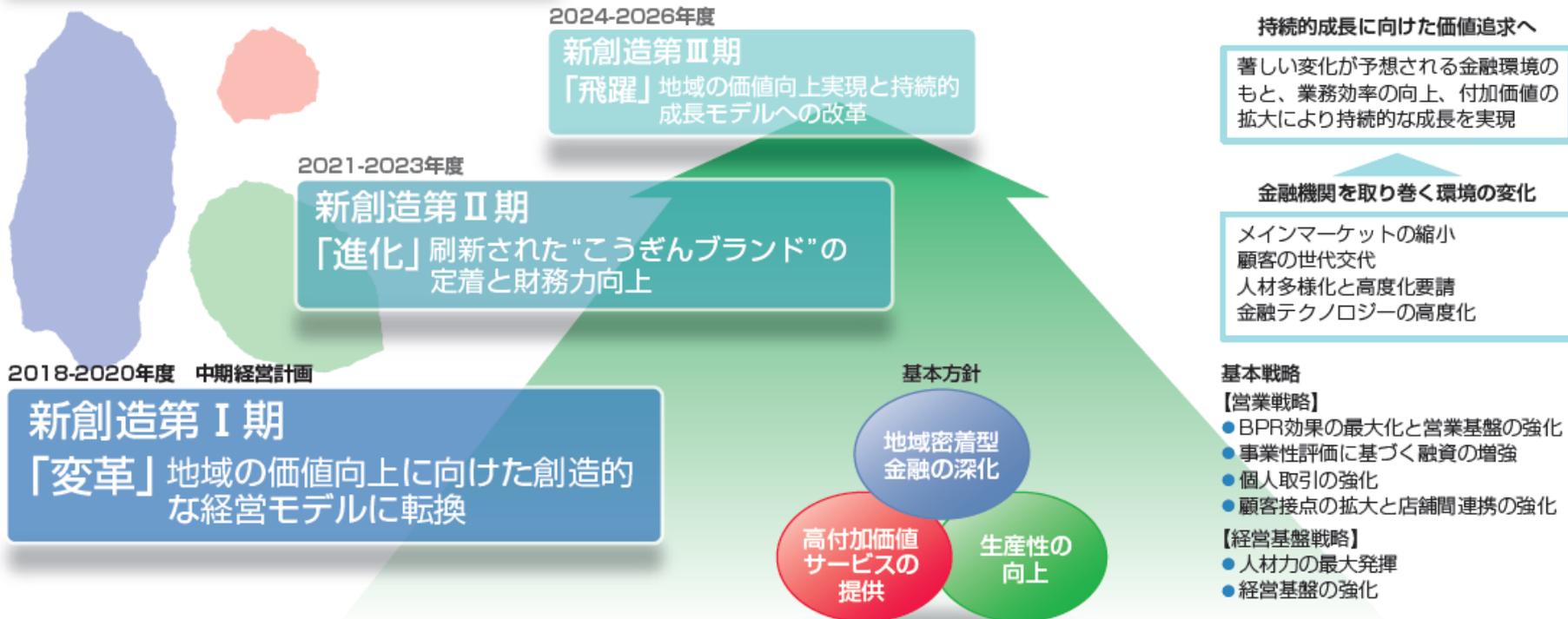
計画期間 2018年4月～2021年3月

経営目標

- ☆お客さまにとって…役に立ち信頼される銀行
- ☆株主にとって…健全で企業価値の高い銀行
- ☆地域社会にとって…使命を果たし発展に貢献する銀行
- ☆職員にとって…働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行

10年後の目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」 ～こうぎんの目指すベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク～

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる



■ 中期経営計画の主要計数目標と実績



主要計数目標

コア業務純益	1,957百万円	1,521百万円	1,940百万円
業務粗利益経費率	71.19%	73.16%	71.37%
当期純利益	15億円	9億円	15億円
自己資本比率	9.4%程度	9.60%	9.3%程度

地域密着型金融の深化

中小規模事業者等向け貸出残高	3,968億円	4,045億円	3,985億円
経営改善支援等の取組比率	4.83%	7.86%	4.92%

※ コア業務純益 = (業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益)

※ 業務粗利益経費率 = ((経費 - 機械化関連費用) ÷ 業務粗利益)

2020年3月期第1四半期決算の主要計数

(百万円)

〔単体ベース〕	2019年3月期 第1四半期 (H30.6.30)	2020年3月期 第1四半期 (R1.6.30)	比較
預金等残高	933,031	964,203	31,172
貸出金残高	678,452	690,365	11,913
業務粗利益	3,557	3,761	204
コア業務純益	470	588	118
経常利益	940	725	△215
四半期純利益	645	448	△197
経費	2,962	2,868	△94
不良債権比率	4.17%	4.17%	±0.00ポイント
自己資本比率	9.90%	9.75%	△0.15ポイント

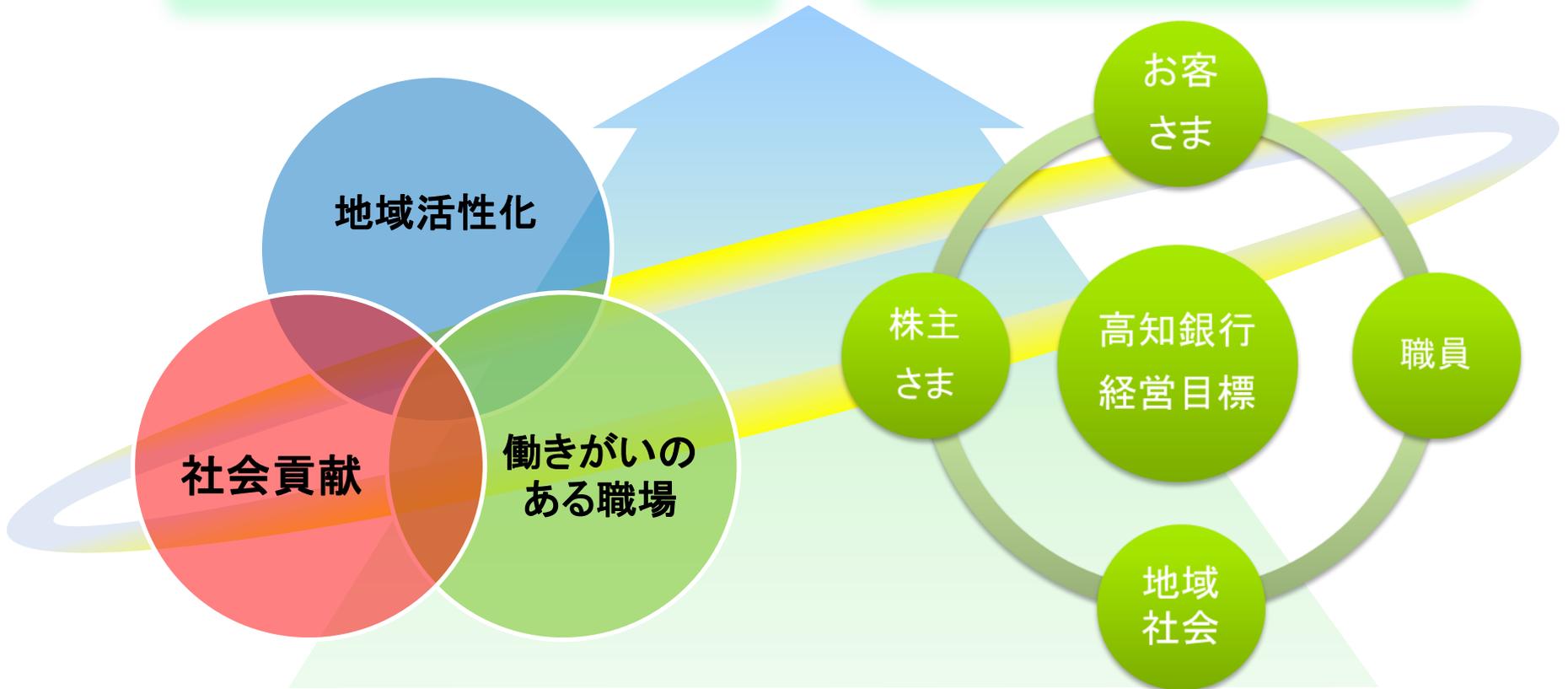
CSR活動 ESGへの取り組み

CSR活動への取り組み

当行は、全てのステークホルダー（お客さま・株主さま・地域社会・職員）に対し、より高い価値を提供し、地域社会の持続的な発展に貢献していくことを経営目標に掲げ、CSR活動に積極的に取り組んでおります。

地域社会の持続的な発展

高知銀行の持続的な発展



地域と「こうぎん」の持続可能な成長の実現のために

当行は、地域社会の課題解決に貢献しつつ、自らの経済的価値も追求する「地域との共通価値の創造」を目指します。ESG(環境・社会・ガバナンス)の観点から、様々な取り組みを行っております。



環境

美しい環境とともに新時代へ

環境保全への取り組み

太陽光や風力、バイオマスなど再生可能エネルギー資源を利用した発電事業に対する環境関連融資を通じて、グリーンエネルギーの普及・発展に取り組んでおります。また、環境に配慮した事業に取り組んでいるお客さまを応援する環境配慮型私募債など、環境・エコ関連商品をご用意しております。



社会

ダイバーシティ推進、仕事と育児の両立支援

「準なでしこ」銘柄2019に。全国の第二地銀・四国の銀行で初

「なでしこ銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に優れた企業を選定するものです。持続的成長に向けて、**こうぎん**は今後も多様な人材の経験や価値観を尊重し、互いの能力を最大限に発揮できる職場環境の整備に努め、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでまいります。



ガバナンス

ガバナンス強化に向けて

執行役員制度の導入・指名報酬委員会を設置

取締役会で決定した戦略について、より機動的に遂行する態勢を整備するとともに、取締役会の監督機能の一層の強化に繋げるため、執行役員制度を2019年4月に導入しました。また、取締役等の選任・報酬等の公正性、透明性、客観性を確保するための諮問機関として指名報酬委員会を設置しました。2018年6月からは独立役員を1名増員し、取締役会構成員13名のうち独立役員を6名としてガバナンスの充実を図るとともに、経営のより一層の透明性を高めております。

「地域活性化」への取り組み

当行は、「高知県産業振興計画」における地域アクションプランの各戦略に沿って、高知県および県下市町村の様々な事業に積極的に関与しております。また、地域企業の皆さまの事業に対する理解を深めて、課題を共有し、よりきめ細やかなソリューションの提供に努めております。

中小企業支援体制を強化 … 「ビジネスサポートこうち」など、外部機関との連携支援

高知県下の中小企業等の経営健全化に資する目的で、税制や法律面等の専門家などで構成し設立された「一般社団法人ビジネスサポートこうち」(以下、BSK)が、平成30年4月より活動を開始しております。当行は、その設立趣旨に賛同し組成段階から深く関与させていただいており、BSKと連携し、税制や法務の専門家に協力をいただきながら、事業承継や相続対策支援、経営改善支援など、地域の中小企業者の皆さまの課題解決に向けたサポートを行っております。

このほか、お取引先の様々なニーズにお応えしていくために、外部機関との連携によるセミナーや相談会を開催しております。



中小企業事業者向けセミナー開催実績(平成30年度～)

セミナー／相談会	共催／協力	開催時期
中小企業事業者向けセミナー「会社の未来を考える」	BSK	平成30年7月
中小企業事業者向けセミナー 「一歩ずつ、会社の未来を考える」	BSK	平成30年9月
東南アジア進出セミナー	GCA株式会社	平成30年9月
労働関係助成セミナー	高知労働局	平成30年10月
消費税改正セミナー	BSK	平成30年12月
「ものづくり補助金」個別相談会	高知県中小企業団体中央会	平成31年3月
相続税改正・民法改正セミナー	BSK	令和元年9月

各種商談会への出展支援

高知県の地産外商支援への取り組みの一環として、高知県や高知県地産外商公社等との共催による各種商談会の出展支援などを通じて、お取引先企業の新たな販路の開拓等のサポートに取り組んでおります。

商談会	出展支援状況等	開催時期
地方創生「食の魅力」発見商談会2018(第8回)	第二地方銀行協会加盟行31行	平成30年6月
[名古屋]第1回土佐の宴～高知県食品試食商談会	高知県地産外商公社、四国銀行、JAバンク高知他	平成30年10月
首都圏バイヤー商談会2019	大和証券と共催	平成31年1月
第53回 スーパーマーケット・トレードショー2019	高知県、高知県地産外商公社、四国銀行	平成31年2月
第44回 FOOD EX JAPAN 2019	高知県、高知県地産外商公社、四国銀行	平成31年2月



地方創生「食の魅力」発見商談会2019



薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会

こうぎん地域協働ファンドの支援体制を強化

当行および当行連結子会社のオーシャンリース株式会社は、「こうぎん地域協働ファンド」を共同で運営し、創業や新規事業展開、ベンチャー企業の育成支援等、地域経済の活性化や産業振興に資する事業者の育成に向けた支援に取り組んでおります。ファンドの出資受入金は平成29年12月に3億円増額して6億円といたしました。ファンドの活用を通じて地域経済の活性化をサポートしていくため、令和元年7月にはファンドの存続期間の延長を決定して「令和8年3月31日まで」とし、支援体制を強化いたしました。

「こうぎん農林水産応援投融資」の取扱開始

地域の一次産業の持続的な成長と中長期的な価値の向上に資するため、令和元年6月、「こうぎん農林水産応援投融資」の取り扱いを開始いたしました。

当行は、地域金融機関として、成長可能性等の事業性評価を重視した融資やコンサルティング機能を発揮し、一次産業の活性化や育成に取り組んでまいります。



ご利用いただける方

農林水産業を営んでいる、またはこれから農林水産業をはじめようとする法人・個人（農事組合法人は除きます）。ただし、「投資」は地域振興に貢献すると認められる法人といたします。

日本政策公庫との連携融資でパワーアップ

当行は、日本政策金融公庫（以下、日本公庫）と連携・協力し、地域中小企業の皆さまのより幅広いニーズにお応えしていくため、協調融資や情報提供などの連携事業の強化に取り組んでおります。



○こうぎん地域活性化応援連携融資

地域の商標や地域産業資源を活用した事業ならびに「高知県産業振興計画」の地域アクションプラン認定事業等を対象とした当行融資「こうぎん地域ブランド応援融資」と、日本公庫の制度融資をパッケージ化し、平成31年3月から「こうぎん地域活性化応援連携融資」の取り扱いを開始いたしました。

○こうぎん農林水産応援連携融資

令和元年7月には、日本公庫との連携融資第2弾として、当行商品（左記参照）と日本公庫の制度融資をパッケージ化した「こうぎん農林水産応援連携融資」の取り扱いを開始いたしました。

当行は、今後も日本公庫と連携を図りながら相互に協力し、地域中小企業や事業者の皆さまのさまざまなニーズに応えていくことで、地域の産業振興や活性化に貢献してまいります。

「社会貢献」への取り組み

当行は、地域の振興に向けた様々な活動を通じて、地域の発展と暮らしの向上に貢献してまいります。

産学連携による地域貢献活動 《シーズ発表会》

高知工業高等専門学校が保有している研究技術(シーズ)を県内事業者を紹介し、共同研究や事業化への発展につなげていくことを目的とした「シーズ発表会」を、平成18年より毎年開催しております。

商品化に向け企業との共同開発が進展している案件もあるなど、情報交換や技術相談の場として高い評価をいただいております。



シーズ発表会

産学連携による地域教育活動 《こども金融・科学教室》《こどもサッカー教室》

地域の子どもたちを対象に、高知工業高等専門学校との共催による「こども金融・科学教室」や高知大学との共催による「こどもサッカー教室」などのイベントを毎年開催しております。



こども金融・科学教室



こどもサッカー教室

フードドライブを支援

当行は、災害対策用(BCP)備蓄品の更新に際し、保有していた非常用食料を、平成31年1月、「フードドライブ」活動を実施している社会福祉法人高知県社会福祉協議会に寄贈いたしました。



高知県社会福祉協議会を通して「こども食堂」などに届けられました

金融リテラシー向上への取り組み

金融リテラシーとは、金融に関する知識や情報を正しく理解し、主体的に判断することができる能力であり、社会人として経済的に自立し、より良い暮らしを送っていくうえで欠かせない生活スキルです。当行は、お客さま向け金融セミナー等を積極的に開催しております。

	平成30年3月期	平成31年3月期
お客さま向けセミナーの開催数 ^{※1}	103回	112回
行員向けセミナー受講者数 ^{※2}	5,018名	5,797名

※1 お客さま向け「投資信託セミナー」「生命保険セミナー」「年金相談会」「税務相談会」の開催数合計です。

※2 本部集合研修と自主参加型セミナーの受講者数(延べ)合計です。

地域社会の一員として、さまざまな活動を行っております

- 「志国高知幕末維新博」に寄付金を贈呈(H30.4)
- 高知県カツオ県民会議の活動を支援(H30.5)[※]
- 地域の食品産業振興を支援、土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業の運営に寄付金を贈呈(H30.5)[※]
- 赤十字サポーターとして役職員が献血活動を実施(H30.5)
- 平成30年7月豪雨復興支援に、役職員が寄付(H30.7)
- 葛島支店の清掃活動に高知県知事から感謝状(H30.8)
- 年末恒例、役職員がはりまや橋周辺を大清掃(H30.12)
- 「龍馬マラソン2019」をサポート、給水所を運営(H31.2)
- 高校生向け「インターンシップ」を開催(H31.2)
- 役職員が高知ファイティングドッグスに寄付金贈呈(H31.4)
- 新入行員が「お遍路ウォーキング」を体験(R1.5)
- 産学連携支援に係る令和元年度助成事業を決定(R1.8)[※]

※は、「一般財団法人 高銀地域経済振興財団」の活動です。

「働きがいのある職場」づくりへの取り組み

当行は、職員がその能力を最大限に発揮して、いきいきと働ける環境づくりに努めております。

健康経営優良法人ホワイト500に認定

当行は健康経営をより一層推進していくため、平成30年6月に「健康経営宣言」を制定し、職員が心身ともに健康でその能力を最大限に発揮していきいきと働けるように、職員とその家族の健康の維持、増進に取り組んでおります。

これらの取り組みが評価され、平成31年2月には、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)ホワイト500」に認定されました。



「子育てサポート企業」「女性活躍推進企業」に認定

当行は、職員の仕事と子育ての両立を支援するための環境の整備に取り組んでおります。育児休暇制度等の充実に加えて、結婚や育児で退職した職員が復帰できる「キャリアリターン制度」や、非正規社員を正社員に登用する「職員登用制度」のほか、休業中の職員に対し「e-ラーニングシステム」によりスムーズな職場復帰を支援するなど、職場環境の整備に努めております。

こうした取り組みが認められ、当行は平成29年6月、厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん」の認定を受けました。さらに、平成29年9月、高知労働局より、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定マーク「えるぼし」(最高位の3段階目)を取得いたしました。

これからも、ワークライフバランスや人材育成を重視して、職員が仕事と子育てを両立しながらその能力を発揮できるよう、職場環境の整備を進めてまいります。

TOPICS

スマホ向け「高知銀行アプリ」登場

スマートフォンを使用して銀行取引を利用できる「高知銀行アプリ」の取扱いを、平成31年3月から開始いたしました。こうぎんキャッシュカードをお持ちの方は、24時間いつでもどこでも預金口座の残高照会や取引明細の照会、住所変更のお申込みなど、様々なサービスを便利にご利用いただけます。スマホでインターネット支店の口座開設もお申込みいただけます。



「営業チャネル戦略室」を設置

平成31年4月、当行は営業企画部に新たに「営業チャネル戦略室」を設置いたしました。急速な拡大をみせるキャッシュレス化への対応を含め、当行は「お客さま利便性の向上」に向けて、営業チャネルの多様化と最適化に取り組んでまいります。

「J-Coin Pay」が利用可能に

(株)みずほ銀行と提携し、同行が提供するスマホ決済サービス「J-Coin Pay」を、平成31年4月から、ご利用いただけるようになりました。

電話番号やQRコード等でユーザー間の「送る／送ってもらう」機能のほか、決済機能「支払う」や、当行普通預金口座からの入出金「チャージ／口座に戻す」も利用でき、スマホ上のアプリでお金に関する一連の行為が「いつでも・どこでも・無料」でご利用いただけます。



コンビニATMの提携を拡大

平成31年2月、当行はローソン銀行ならびにイーネットATMと提携いたしました。これにより、同社のコンビニATMで、これまでの「お引き出し」や「残高照会」に加えて、「お預入れ」や「法人キャッシュカード」もご利用いただけるようになりました。

「農林水産支援室」を設置

一次産業の特性に応じたサポートの一層の充実に向けて、当行は平成31年4月、地域連携ビジネスサポート部に「農林水産支援室」を設置いたしました。商談会への出展支援を通じた販路拡大や六次産業化に向けた加工技術の紹介など、新たなビジネスマツチングの手法を取り入れつつ、コンサルティング機能の高度化と多様化に取り組んでまいります。

新たな店舗運営にチャレンジ

○昼時間休業の導入

当行は令和元年6月3日から、一部店舗の窓口営業を変更し、昼時間帯に1時間の休業時間を設けました。少人数で運営する店舗については、窓口休業時間を設けることで、全員体制でお客さま対応を行う営業時間帯を確保し、サービスの質の向上を図ります。

- ・昼時間休業実施店舗：吉良川・豊永・宇佐・池川・佐賀支店
- ・窓口休業時間：平日11:30～12:30まで

○「須崎支店」を移転～ランチ・イン・ランチ方式～

当行は、令和元年8月26日に、須崎支店を須崎東支店内へランチ・イン・ランチ方式で移転いたしました。

当行は、店舗集約等による効率化によって生み出される経営資源を有効に活用し、お客さまへの一層のサービス向上に努めてまいります。

創業90周年記念事業を実施

当行は、2020年1月20日に創業90周年を迎えます。お客さまや地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて、2019年度の1年間にわたって、創業90周年記念事業を実施してまいります。どうぞご期待ください。



「感謝」「絆」「共創」「高知銀行」の4つのKで「円」を結び、地域の皆さまとともに成長していく当行の姿勢を表現しております。当行を支えていただいた皆さまに感謝し、これからも地域の皆さまとともに、力強い未来を築いてまいります。

本資料には、当行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。本資料は決算の概要や経営方針等についてのご案内を目的としており、取引の推奨あるいは勧誘を目的とするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社高知銀行 経営統括部

TEL:088-822-9311 FAX:088-871-7121

URL:<http://www.kochi-bank.co.jp/>

E-mail:kouhou@kochi-bank.co.jp

